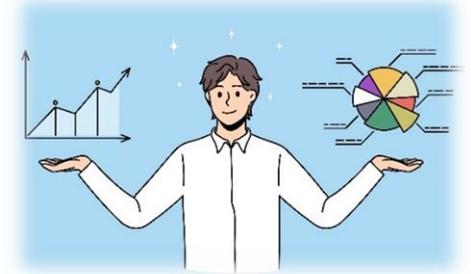


2. 新しい契約は減る一方です。

文法：～最中だ、～うちに、一方だ、～ことなく、～ようとしている、～つつある、～つつ

- 会話 -

A：みなさん、ご苦労様です。ご存じの通り、新しい商品の開発を進めていますが、そうしているうちに今年度も3カ月が過ぎつつあります。これは売上表ですが、3月現在の売り上げを見てみると、去年よりも1.3倍ほど上がったことがわかりますね。



ですが、こちらのチャートを見るとわかるように、今までの契約をアップグレードされるクライアントが多いのに対して、新しい契約は減る一方です。現在、解決策を考えている最中ですが、いい案があれば、ぜひ聞いてみたいんですが、どうでしょうか。

B：多分、去年までは新入社員研修が終わっても訓練が続いていましたが、今年の営業部には新入社員が多くいて、十分上達することなく、やむを得ず仕事を始めたので、それも一つの原因だと思います。なので営業部の仕事をしつつ、もう一度トレーニングを行うほうがいいと思いますが、どうでしょうか。

C：それはいいアイデアですね。営業部の仕事を完全に中断するわけにはいきませんが、少人数ずつならできると思いますが。ただ、営業部だけの問題ではないと思うので、広告デザインについてももう一度考えてみるべきです。新商品の開発に目を向けすぎて、他のことの更新ができていないと思うので。…

- 文法 -

～**最中だ** 「ちょうど～しているところだ」という意味です。予想外のことや起こって嫌だったことに使います。

Vている、Nの +最中だ／最中に

- ①面接をしている最中におなかがなって、恥ずかしかったです。
- ②仕事の最中に地震が起こり、早めに帰宅することになった。
- ③スピーチの最中に、突然^{とつぜん}電気が消えた。
- ④検査の最中に気分が悪くなって、^{かんごし}看護師を呼んだ。

～**うちに** 「～している間に、(何かに変化する)」という意味です。「…」には無意志動詞を使います。

V辞書形／ない形／ている +うちに

- ①知らないうちに、雨が降り出していた。
- ②彼が好きだったが、何度も会っているうちに好きではなくなってしまった。
- ③調査を進めるうちに、その企業の問題点が明らかになってきた。
- ④友達と喋^{しゃべ}っているうちに、3時間もたってしまったようだ。

～一方だ 「～ばかりだ」の硬い言い方で、「～という方向にだけ変化する」という意味です。悪いことに使います。

V辞書形（変化を表す動詞）＋一方だ

- ①妻と喧嘩してから関係が悪くなる一方で、どうしたらいいのかわからない。
- ②咳やくしゃみがひどくなる一方なので、病院で検査してもらおうと思う。
- ③牛や豚の病気が広がる一方なので、国中の人が心配している。
- ④国際化が進んだために、語学力の必要性が高まる一方だ。
- ⑤家賃、学費、食費と、出費が増える一方だ。

～ことなく 「～をしない状態で、（動作が続いたり完了したりする）」という意味で、硬い言い方です。異なる主語には使えません。

V辞書形＋ことなく

- ①彼は一言も文句を言うことなく、彼女の言うことを聞いていた。
- ②ナオミさんはためらうことなく、上司の愚痴ぐちを言った。
- ③同僚は同期に相談することなく、会社を辞めていった。
- ④夏の間も休むことなく、原稿げんこうを書き続けた。
- ⑤何度失敗しても諦めることなく研究を続けた結果、博士号はくしごうを取得することができた。

~ようとしている 「もうすぐ~になる」という意味です。

V 意向形（自動詞の瞬間動詞） + としている

- ①演劇が始まろうとしているが、客席はまだ半分も埋まっていない。
- ②授賞式が終了しようとしている時に、彼女は気を失って倒れてしまった。
- ③彼は年末に立てた目標を達成しようとしている。

★まとめ【(V 意向形) とする】

文型	接続	意味	例文
~とする	V 意向形	something unexpected happened <u>right before</u> ~	パソコンを再起動しようとしたが、画面に何も映らなくなった。 お金を払おうとしたら、財布を忘れてきたことに気がついた。
		to be trying ~ (hard)	彼女は Wifi に接続しようとしているが、なかなかできないようだ。 ふたを開けようとしたが、固くて開かなかった。
almost ~		飼っているいもむしが、蝶 <small>ちょう</small> になろうとしている。 赤ちゃんが自分で立とうとしている。	
(Someone else) has no intention of ~		彼は、本気で研究に取り組もうとしていない。 二人とも頑固で、謝ろうとしない。	
~としている			
~としない			

~つつある 「~という変化が進行中だ」という意味です。

Vます形（変化を表す動詞）+つつある

- ① 3月なので寒いことは寒いですが、次第に暖かくなりつつある。
- ② 祖父の体は回復しつつあるが、まだ入院治療が必要だ。
- ③ 私たち人間には、失われつつある自然を守る義務がある。
- ④ 異常気象の影響が各地に広がりつつある。
- ⑤ 明治時代の初め、日本は急速に近代化しつつあった。

~つつ 「~ながら」の硬い言い方です。

Vます形（時間の幅がある行為の動詞）+つつ

- ① 新しい出会いを期待しつつ、会社のパーティーへ出かけた。
- ② どの大学に行くかは、お金のことを考えつつ選ばなければならない。
- ③ 様々なことに挑戦しつつ、自分が本当にしたいことは何か考えてみる。
- ④ 当旅館では、美しい景色を眺めつつ温泉につかることができます。
- ⑤ ^{しゅみ}趣味の園芸教室では草花の育て方を学びつつ、仲間とのおしゃべりを楽しんでいる。

- 練習問題に挑戦！ -

問題 1.【正しい答えを選びなさい。】

- ①最近天気が悪いので、今日は雨が降らない（うちに・最中に・までに）洗濯しようと思っている。
- ②5時から6時の（最中に・間に・うちに）、事務所まで来てください。
- ③テストの（間に・最中に・うちに）気分が悪くなって、吐いてしまった。
- ④本を（間まで・最中まで・途中まで）読んだところで、寝てしまった。
- ⑤とても疲れていて、本を読んでいる（結果・間・うちに）寝てしまった。
- ⑥映画の一番いい（ところで・最中で・間で）、停電が起きた。
- ⑦新しく覚えた単語は、覚えている（最中に・うちに・間）使わなければ忘れてしまうだろう。
- ⑧骨折して会社を休んでいる（間に・うちに・途中で）、火傷もした。
- ⑨魚介類はいたみやすいので、新鮮な（間に・うちに・最中）港に運ばれ、加工される。
- ⑩来年度の予算については、今検討している（うち・間・最中）だ。
- ⑪お金を貸し借りしている（うちに・間・ところで）、仲が悪くなってしまった。
- ⑫救助を待っていた（うちに・途中で・ところを）、たまたま通りかかった人に助けられた。
- ⑬登山の（うち・間・最中）にトイレに行きたくなったら、辺りの茂みでするしかない。

問題 2. 【「～最中だ」を使って、文を完成させなさい。】

- ①好きなテレビを見ている最中に、_____。
- ②展示会の準備をしている最中に、_____。
- ③パソコンを再起動している最中に、_____。

問題 3. 【「～うちに」を使って、文を完成させなさい。】

- ①地理について勉強しているうちに、_____。
- ②彼とリハビリしているうちに、_____。
- ③学費を返済しているうちに、_____。

問題 4. 【「～一方だ」を使って、文を完成させなさい。】

- ①_____、成績が悪くなる一方だ。
- ②最近新しいプロジェクトが多いせいでとても忙しく、_____一方だ。
- ③_____、ここ数ヵ月ガソリンの価格が上がる一方だ。
- ④_____、このままでは貧困はひどくなる一方だ。

問題 5. 【「～ことなく」を使って、文を完成させなさい。】

- ①彼らは結婚してから、安定することなく_____。
- ②一日も休むことなく、_____。
- ③その事故は、車が速度を落とすことなく、_____ようだ。
- ④毎年忘れることなく、_____。
- ⑤彼女はバカな彼氏にもあきれることなく、_____。
- ⑥_____。

問題 6. 【「～ようとしている」を使って、文を完成させなさい。】

- ①_____別れようとしている。
- ②_____完成しようとしている。
- ③会社の方針が悪いせいで、_____としている。
- ④留学生活が終わりを迎えようとしている時に、_____。
- ⑤大切な手術が始まろうとしている時に、_____。
- ⑥_____。

問題 7. 【「～つつある」を使って、文を完成させなさい。】

① 2歳になる娘は言葉を理解しつつあるが、_____。

② 失敗ばかりで諦めつつあるが、_____。

③ _____ だんだん受け入れられつつある。

④ _____ せいで、_____ が失われつつある。

⑤ _____。

問題 8. 【「～つつ」を使って、文を完成させなさい。】

① 海外旅行へ行ったら、観光しつつ _____。

② 父はアウトドア派だと言いつつ、 _____。

③ 私は大学で研究しつつ、 _____。

④ 教師は _____ つつ、 _____ なければならない。

⑤ 借金を返済しつつ、 _____。

⑥ 人生は、冒険ぼうけんしつつ _____。

⑦ _____。

問題 9.【下の文章に合っていたら○、違っていたら×を選びなさい。】

近年、高齢者ドライバーによる事故が増えている一方、バイクや原付バイクを運転者の死亡事故も深刻になりつつある。中でも原付は通常の自動車免許で乗れるため、多くの若者も正しい乗り方を習うことなく乗っている人がいる。今回はそんなこれから原付に乗ろうとしている人へ、原付特有のブレーキのかけ方を説明しよう。

原付に乗るにあたり、ブレーキが故障していないか確認するのを忘れずに行いましょう。原付の場合、「キキーッ」という異音がありますが、高音であれば異常ではありません。ただし定期点検は必ず行いましょう。

●ブレーキのかけ方●

原付バイクには3種類のブレーキが存在する。アクセルを戻す際に減速するエンジンブレーキと、前輪、そして後輪のブレーキだ。前輪ブレーキは右ハンドル部分にあるレバーを握るとブレーキがかかる仕組みだが、後輪ブレーキの場合は車種によって異なり、左ハンドル部分のレバーもしくは右足ペダルが用意されている。原付バイクのブレーキ操作でもっとも重要なのは、特に前輪ブレーキを強くかけすぎないこと。ある程度のスピードが出ている状態から前輪ブレーキのみを強くかけてしまうと、前輪のタイヤがロックしてしまいバイクが転倒する危険性が高まる。また、急ブレーキは後続車が追突するリスクも高いため避けなければならない。原付バイクのブレーキ操作の正しい方法としては、エンジンブレーキで徐々にスピードを落としつつ、前輪と後輪ブレーキを均等にかけるのがもっとも安全だ。

事故を起こさないように、必ず練習してから公道に出るようにしましょう。

- ① () 最近、原付バイクの死亡事故が深刻だ。
- ② () 原付の乗り方を知っているのに、そう乗らない若者が増えている。
- ③ () 原付に乗る前に故障をチェックしないと、異音がすることがある。
- ④ () エンジンブレーキを使ってちゃんと減速してから、前輪と後輪ブレーキをかける。
- ⑤ () 乗っているうちに慣れてくるから、公道で練習する。
- ⑥ () これは、特に原付に乗ったことがない人へ書かれている。

